

市に「まちづくり・教育」に関する課題を提言

2月1日、ばんどう女性会議(小川喜代子会長)のみなさんが市役所を訪れ、女性の視点を取り入れた、きめ細やかな「まちづくり・教育」に関する提言書を吉原市長に提出しました。

ばんどう女性会議は、毎月の会議や研修などを行い、これから取り組むべき課題について取りまとめ、市に提言を行っています。

提言は次のとおりです。

●魅力あるまちづくり

若い人の移住促進・住み続ける体制整備

●東京オリンピックボランティアの養成

●英語都市“坂東”

●(仮称)総合センターの推進

生きがい対策の充実、高齢者の活躍の場の拡大、
飲食業就労支援

●町カフェの設置 ミューズの森

●リサイクルバンクの拡大(学生服・学用品など)

●支援を必要とする子どもの自立・就労体制の充実



■お問合せ 市民協働課 内線 1371

ばんどう まちづくり

坂東市長 吉原英一



子どもたちの 可能性を伸ばし 意欲を育てる教育

「鍛錬千日之行 勝負一瞬之行」(鍛錬千日これを行う勝負一瞬これを行う)、かつて甲子園を湧かせた池田高校野球部の蔦文也元監督の言葉です。

先ごろ、岩井中学校男子ハンドボール部が春の全国大会初出場の切符を手にしたとの朗報が飛び込んできました。市役所まで報告に来てくれた子どもたちのはにかんだ笑顔を見て、「とうとうやったな!」という誇らしい気持ち

を抑えることができませんでした。この快挙は、2019年の茨城国体(坂東市会場・ハンドボール成年男子)の開催に向けて、大きな弾みをつけてくれたものと思います。

長い長い時間をかけて練習をしてきても、本当の勝負はほんの一瞬にして決まるという蔦元監督の言葉どおり、子どもたちの努力は並大抵のものではなかったらうと思います。春の全国大会(3月26日)

／富山県では子どもたち、そして支援してきた先生、保護者のみなさんの思いが大きく実ることを期待しています。

当時の自分を振り返ってみても、若いころの情熱はとめどなく、その情熱はあらゆる方向へと広がりを見せるものです。市内小中学校では、子どもたちが秘めているあらゆる可能性、興味や関心を引き出し、育て、伸ばしていけるよう、それぞれの特色化を図っています。

市としとしても、学力向上スポーツ、文化芸術など、さまざまな分野において、学習・挑戦意欲の高揚につながるよ

う各種事業を進めています。

全国学力調査でトップレベルの成績を誇る秋田県能代市の手法を参考にした授業改善やベネッセコーポレーションと連携して民間のノウハウを生かした学力向上に取り組んでいます。また、市内全小学校が英語教育特区の認定を受けたことから、小学1年生から英語活動の授業を取り入れています。漢字・数学・英語検定取得率日本一に向けた取り組みは6年目を迎え、昨年の小学生3年連続日本一、中学生初の日本一に続けと期待が寄せられます。さらに恒例となった市立柏高等学校と東海大付属高輪台高等学校吹奏楽部による演奏会は、子どもたちにとって自分もそのレベルに達したいという意欲の原動力になっているようです。

今後も教育施設の整備をはじめ、グローバル社会に向けたICT教育(電子・通信機器を使って情報や知識の交流を行う)の推進など、さらなる教育環境の充実に努めていきますので、市民のみなさんのご協力をお願いします。